



お知らせ

記者発表資料 | 平成27年12月3日

■同時発表先：鳥取県政記者会、島根県政記者会、
岡山県政記者会、広島県政記者クラブ、
広島合同庁舎記者クラブ、山口県政記者会、
山口県政記者クラブ、山口県滝町記者クラブ、
中国地方建設記者クラブ

平成27年度人事院総裁賞の受賞について

国土交通省中国地方整備局は、平成26年8月の広島市土砂災害に際し、早急に被災状況の確認を行い、二次災害のおそれのある中での緊急溪流点検・危険度評価実施や、流出した土砂撤去など、整備局の総力を挙げた対応が評価され、このたび、平成27年度人事院総裁賞（職域部門）を受賞することが決定しましたのでお知らせします。

1. 受賞者

国土交通省 中国地方整備局

2. 授与式

授与式は人事院により以下のとおり行われます。

日時：平成27年12月10日 11時15分～

場所：明治記念館（東京都港区元赤坂）

式後、天皇皇后両陛下の御接見を賜る予定です。

※人事院総裁賞とは、多年にわたる不断的努力や国民生活の向上への顕著な業績等により、公務の信頼を高めることに寄与したと認められる職員（一般職の国家公務員）又は職域を顕彰するもの。（昭和63年創設）

<問い合わせ先>

中国地方整備局 082-221-9231（代表）

【表彰の内容に関すること】

企画部 防災課長 ^{たけ}武 ^べ部 ^{まさ}真 ^み実(内線3411) 511-6161(平日・夜間)

【表彰式に関すること】

総務部 人事課長 ^{やま}山 ^{かわ}川 ^{ひろ}裕 ^{ふみ}史(内線2251) 511-6021(平日・夜間)

【広報担当窓口】

広報広聴対策官 ^{ひら}平 ^{かわ}川 ^{まさ}雅 ^{ふみ}文(内線2117)

企画部 環境調整官 ^た田 ^お尾 ^{かず}和 ^{なり}也(内線3114)

職域部門（国土交通省 中国地方整備局）

《平成26年8月の広島市土砂災害における整備局の総力をあげた対応》

名称・所在地・代表者・沿革等	組織の概要等
国土交通省 中国地方整備局 広島県広島市中区上八丁堀6番30号 (広島合同庁舎2号館) 中国地方整備局長 まるやま たかひで 丸山 隆英 (職員数1,769名 H27.4.1現在) 明治22. 7 内務省第5区土木監督署が安芸国に移される。 昭和18.11 内務省中四国土木出張所設置。 運輸通信省第三港湾建設部、 第四港湾建設部設置。 昭和20. 5 運輸通信省が運輸省に改正。 中略 昭和23. 1 建設院中国四国地方建設局設置 昭和23. 7 建設省に名称変更 昭和33. 6 中国地方建設局（広島市）設置。 平成13. 1 国土交通省中国地方整備局設置。	国土交通省は、国土の総合的かつ体系的な利用、開発および保全、そのための社会資本の整合的な整備、交通政策の推進、気象業務の発展並びに海上の安全および治安の確保などを行っている。 中国地方整備局は、明治22年(1889)内務省第5区土木監督署が広島県に移されたものが前身となり、その後、名称や所掌範囲を変更しながら昭和23年(1948)7月に中国四国建設局となった。昭和33年(1958)6月に中国地方と四国地方に分担され、中国地方建設局となり、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県を所管区域として、河川、道路、営繕、公園事業を担当してきた。更に平成13年(2001)1月の国土交通省設置により、港湾空港事業を担当するとともに、自治体実施の事業についての認可・助成等を通じて社会資本整備等に対する自治体との連携を深めている。

顕彰理由

中国地方整備局は、平成26年8月の広島市土砂災害発生時に、早急に被災状況の確認を行い、二次災害のおそれのある中での緊急溪流点検・危険度評価実施や、流出した土砂撤去などを行った。整備局の総力をあげた自治体や捜索活動機関への支援により、早期復旧、二次災害の防止を図った。また、被災者等に寄り添った丁寧な取り組みにより、国土交通省職員への信頼感が得られ、引き続き実施する災害復旧事業の早期実施につながっている。以上、国民の生命・財産等の保護等業務上の顕著な功績により、公務の信頼を高めることに寄与した。

理由詳細

平成26年8月20日夜半から明け方にかけての豪雨により、広島市安佐南区、安佐北区、西区を中心に、土石流、がけ崩れが多数発生し、死者75名（災害関連死1名含む）に及ぶ大規模な土砂災害となった。

中国地方整備局は、被災状況の確認のため、直ちに広島県・広島市等にリエゾンを派遣するとともに、早朝よりヘリコプターによる被災状況調査を開始した。発災当日広島県庁に設置された政府現地災害対策室にもリエゾンを派遣し、各省庁で連携した活動を実施するとともに、TEC-FORCE（被災状況調査班等）を派遣した。

現地は、土砂、がれき、流木、車両等が山積し、沢からの流水で土砂はぬかるんだ状態であり、搜索活動や土砂撤去など応急復旧作業は難航を極めた。また、土石流発生溪流では、不安定土塊が残り、大量の山水が流れる急峻な斜面を、土石流発生位置まで徒歩で立ち入って調査するなど、危険で過酷な環境となっていた。

こうした現地状況の中で、整備局職員と国土技術政策総合研究所等専門技術者が共同で緊急溪流点検・危険度評価を行い、避難勧告解除、応急対応に資するための判断材料を広島県・広島市へ提供するとともに、市長に対し詳しい説明を行った。また、その点検結果を現地で搜索活動を行っていた自衛隊・警察・消防の各機関にも提供し安全確保の技術的助言を行った。更に、二次災害の防止のため、ワイヤーセンサー・サイレン等の警報装置の設置や、発災後の降雨後の状況により安全確認を行い、搜索機関へ情報提供するなどの支援も行った。

河川・道路の直轄施設の復旧に加え、特に被害が甚大であった緑井・八木の両地区を中心に、二次災害の防止と早期復旧を図るため、国が自ら行う「災害緊急対応事業」として土砂撤去等を実施した。このうち、排水不良となっていた用水路の通水確保及び搜索活動と輻輳する箇所では、昼夜を問わず作業を行った。作業にあたっては、搜索活動を優先する必要があるため、各機関との連携は不可欠であり、現地の合同搜索本部に整備局職員が常駐し、連携調整を行った。その結果、行方不明者全員が発見されることとなり、応急復旧の進捗を図る上で大いに貢献した。また、応急復旧はボランティア活動や多くの地域住民が生活している中で、一部の民地の土砂撤去も含めた作業となり、整備局職員は災害協定業者とともに、「被災者や地域住民へ寄り添う気持ち」を心がけた。被災者や地域住民に対する丁寧な説明や要望把握に努めるだけでなく、要望に対する措置等フォローアップを確実に実施した。

他の地方整備局等からの応援も含め、中国地方整備局の総力をあげた対応により、約一ヶ月半という短期間で、土砂撤去、道路啓開、大型土のうの設置等応急復旧を実施することができた。

これにより、被災者・地域住民からの国土交通省職員への信頼感が得られ、引き続き実施する災害復旧事業の早期実施につながっている。

以上、国民の生命・財産等の保護等業務上の顕著な功績により、公務の信頼を高めることに貢献した。

平成26年8月の広島市土砂災害における整備局の総力をあげた対応

中国地方整備局は、平成26年8月の広島土砂災害に際し、国管理河川・道路の復旧とあわせて、二次災害の恐れのある中で、緊急溪流点検・危険度評価実施を行うとともに、広島市からの支援要請を受けて用水路や市道の土砂撤去を昼夜を問わず実施するなど、総力をあげて迅速な対応を行いました。



被災箇所の状況(国土地理院提供)



溪流緊急点検実施状況



危険度評価の説明(広島市長)



搜索活動機関への助言



土砂撤去作業状況



搜索活動機関との連携



地域の方とのコミュニケーションの状況

報道資料

平成27年12月3日

平成27年度人事院総裁賞（第28回）受賞者の決定について

人事院は、本年度の人事院総裁賞の受賞者（個人：1名、職域：4グループ）を以下のとおり決定しました。

12月10日（木）11時15分から明治記念館（東京都港区元赤坂）において授与式を行い、その後、天皇皇后両陛下の御接見を賜る予定です。

【個人：1名】

海上保安庁

総務部海上保安試験研究センター 化学分析課専門官

こいずみ としあき
小 泉 敏 章 （61歳） 〔東京都立川市勤務〕

分析・鑑定業務の第一人者として、高度な専門的知識等をいかし、多種多様な海上犯罪の証拠品等の分析・鑑定業務に長きにわたり地道に従事し、海上保安庁の犯罪捜査の信頼性向上に多大な貢献



【職域：4グループ】

財務省

門司税関 厳原税関支署

〔長崎県対馬市〕

国境の離島である対馬において、限られた人員で多数の入国旅客者の旅具通関業務に当たり、盗難被害に遭った市指定有形文化財である仏像等を発見・摘発するなど、文化財の国外流出阻止にも貢献



▲厳原港における旅具検査の状況



摘発された仏像及び経典▶

厚生労働省

関東信越厚生局麻薬取締部

麻薬取締部危険ドラッグ取締対策本部 [対象職員数 127名、東京都千代田区]

大きな社会問題となった危険ドラッグについて、訴訟リスクや反社会的勢力の抵抗などの障害を乗り越え、検査命令の発動や徹底した取締りにより短期間に販売店舗を全滅し、国民の保健衛生確保に貢献



▲販売店舗の搜索



▲密造工場内部の様子

水産庁

九州漁業調整事務所 漁業取締船白鷗丸 ^{はくおうまる} [対象職員数 23名、福岡県福岡市]

我が国の排他的経済水域内において無許可操業を行った中国虎網漁船^{とらあみ}を我が国で初めて^だ逮捕したほか、収集した情報を基に中国政府による虎網漁業への実効ある規制・管理措置につなげるなど、東シナ海における水産資源の保護及び漁業秩序の維持に大きく貢献



▲逃走する虎網漁船に接舷を試みる白鷗丸



▲捜査時の様子

国土交通省 中国地方整備局 [対象職員数 1,769名、広島県広島市]

平成26年8月の広島市土砂災害に際し、二次災害のおそれのある中、被災状況の確認、緊急渓流点検・危険度評価の実施、二次災害防止措置や河川・道路の直轄施設の復旧など、総力を挙げた対応に尽力



▲緊急渓流点検の実施状況



▲捜索活動機関への助言

人事院総裁賞とは

人事院総裁賞は、多年にわたる不断の努力や国民生活の向上への顕著な功績等により、公務の信頼を高めることに寄与したと認められる職員（一般職の国家公務員）又は職域を顕彰するものです。（昭和63年創設、今回28回目）

受賞者は、各府省等から推薦された候補の中から、選考委員会が選考を行い、その結果に基づき人事院総裁が決定します。

人事院総裁賞選考委員			(敬称略)
(委員長)	つくだ 佃 和 夫	三菱重工業株式会社相談役	
	あきやま 秋 山 咲 恵	株式会社サキコーポレーション代表取締役社長	
	おおしま 大 島 ま り	東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授	
	さとう 佐 藤 友美子	追手門学院大学地域創造学部教授	
	にしき 西 木 正 明	作家	
	はしもと 橋 本 五 郎	読売新聞特別編集委員	
	みんの 箕 の 輪 幸 人	株式会社テレビ新広島代表取締役社長	以上7名

以 上

問 合 せ 先	人事院事務総局	総務課長	塚崎 裕子
		総務課長補佐	佐藤 壮
		電話 (03) 3581-5311 (内線2105)	
		(03) 3581-2772 (直通)	

取材のお願い

－ 人事院総裁賞授与式 －

平成27年度人事院総裁賞授与式（於：明治記念館）を12月10日（木）に開催します。

授与式当日の行事について取材いただきますよう、よろしくお願いいたします。
取材をいただける場合には、事前に御連絡いただくようお願いいたします。

平成27年12月10日（木）：明治記念館（港区元赤坂2-2-23）

11:15～ 授与式（30分程度） 【末広の間】

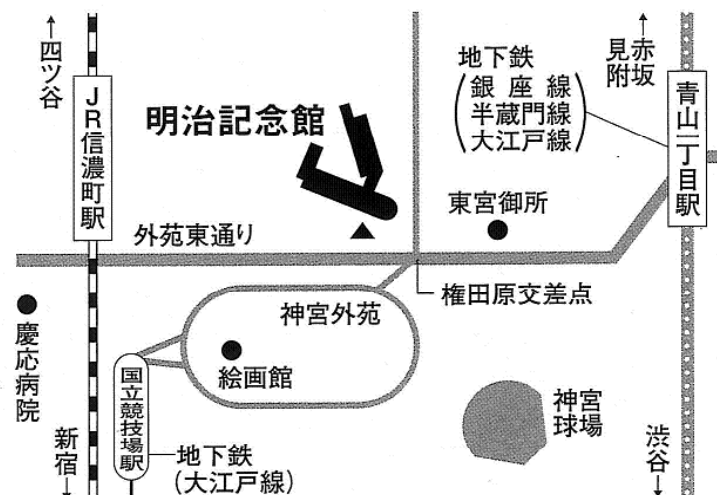
- ・ 人事院総裁挨拶
 - ・ 人事院総裁から受賞者へ賞状等授与
- ※式典全体を取材いただけます。

11:45
～12:10 ※写真撮影の間、受賞者へのインタビューが可能です。

12:15～ 昼食懇談会 【相生の間】

- ・ 選考委員挨拶
- ※冒頭部分を取材いただけます。

明治記念館案内図



JR中央・総武線「信濃町駅」下車 徒歩3分／地下鉄銀座線・半蔵門線・大江戸線「青山一丁目駅」下車(2番出口) 徒歩6分／地下鉄大江戸線「国立競技場駅」下車(A1出口) 徒歩6分